

※お申込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

投資者の皆さまへ
(販売用資料)

ニッセイ欧州株式厳選ファンド

フルインベストメントコース/リスクコントロールコース

追加型投信/海外/株式

※課税上は株式投資信託として取扱われます。

投資信託説明書(交付目論見書)の
ご請求・お申込みは…

大和証券

Daiwa Securities

<販売会社>

商号等：大和証券株式会社
金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第108号
加入協会：日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は…



ニッセイアセットマネジメント株式会社

<委託会社>

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第369号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料はニッセイアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆、保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は、資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。
- 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

(2014年6月作成)

はじめに



期待される欧州株式の上昇、2つのコースから選択

長く低迷が続いた欧州経済ですが、多くの経済統計が現状は景気回復の初期段階にあることを示しています。

景気回復により業績拡大が見込まれる欧州企業について、株価の上昇を期待する方も多いかと思えます。

一方、欧州株式について中長期的な株価の上昇は期待するものの、ウクライナを巡る地政学リスクの高まりなどから、一時的な調整を懸念する方もおられるかと思えます。

当ファンドでは実質的な株式の組入比率について、運用方針の異なる2つのコースを設けています。

『フルインベストメントコース』では、市場動向にかかわらず、実質的な株式組入比率は高位を維持します。

『リスクコントロールコース』では、実質的な株式組入比率を機動的にコントロールし市場下落時の影響の低減をめざします。

運用方針の異なる2つのコースから、お客様の市場見通しやニーズに応じて選択いただけます。

目次

■ ポイント	2
■ さまざまな個性の集合体、欧州	3
■ なぜいま、欧州株式なのか？	
・回復が見込まれる欧州経済、債務懸念も後退	5
・欧州は未だ景気回復の初期段階	6
・出遅れた欧州株式、各種指標は割安を示唆	7
・イールドスプレッドの推移と株価の動向	8
・企業業績は堅調、上昇が期待される欧州株式	9
■ なぜ、厳選して投資するのか？	
・銘柄間の格差は大きい、問われる銘柄選択のチカラ	10
・徹底した調査・分析に基づく厳選投資	11
・厳選投資による特徴あるポートフォリオ	12
■ 『リスクコントロールコース』の狙い	
・組入比率をコントロール、下落時の影響を低減	13
・定量分析に定性判断を加え、組入比率をコントロール	14
・“組入比率の違い”は“パフォーマンスの違い”を生じる	15
■ 参考ポートフォリオのご紹介	
・参考ポートフォリオの主要組入銘柄	16
・運用担当者が注目する銘柄のご紹介	17
■ ファンドの特色	20
■ ファンドの仕組み	21
■ 投資リスク	22
■ ファンドの費用	23
■ お申込みメモ	24



1 景気回復の初期段階にある欧州経済、今後の株価上昇が期待される。

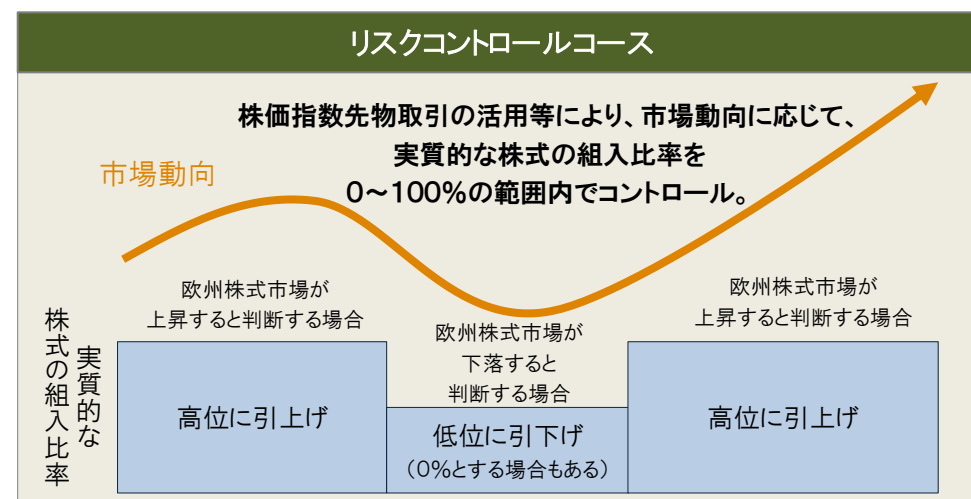
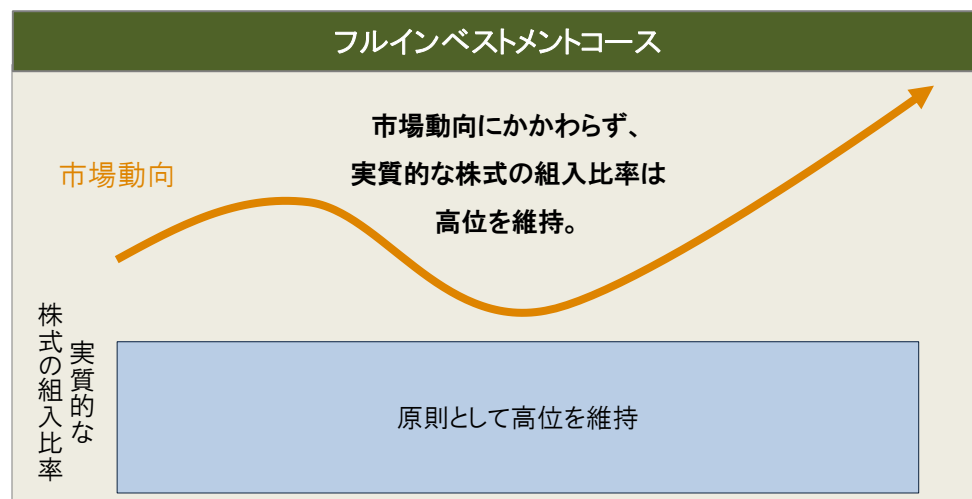
- 欧州は未だ景気回復の初期段階、今後、企業業績の拡大に伴う欧州株式の上昇が期待される。

2 徹底した調査分析に基づき、株価上昇が見込まれる銘柄に厳選投資。

- 景気は回復基調にあるものの、企業業績の見通しなど銘柄間の格差は大きく、銘柄選択のチカラが問われる。
- 当ファンドでは徹底した調査分析に基づき、今後の株価上昇に対する確信度の高い銘柄に厳選して投資。

3 『フルインベストメントコース』と『リスクコントロールコース』、2つのコースから選択可能。

＜各コースのイメージ＞



＜収益の源泉＞

銘柄選択	市場の変動
厳選投資による効果	影響を受ける

銘柄選択	市場の変動
厳選投資による効果	影響をコントロール

さまざまな個性の集合体、欧州



世界の金融センター
イギリス



福祉先進国
スウェーデン



EU本部を有する
ベルギー





拡大を続ける統一経済圏 欧州連合(EU) 2014年5月現在：28カ国

1952 原加盟国	1973 第1次拡大	1981 第2次拡大	1986 第3次拡大	1995 第4次拡大	2004・2007 第5次拡大	2013 第6次拡大	EU加盟候補国一覧 (5カ国)	共同体名称の変遷
ベルギー ドイツ (加盟時西ドイツ) フランス イタリア ルクセンブルク オランダ	デンマーク アイルランド イギリス	ギリシャ	ポルトガル スペイン	オーストリア フィンランド スウェーデン	2004年 マルタ キプロス ポーランド チェコ スロバキア エストニア スロベニア ハンガリー ラトビア リトアニア 2007年 ブルガリア ルーマニア	クロアチア	アイスランド セルビア トルコ マケドニア (旧ユーゴスラビア) モンテネグロ	1952年 欧州石炭鉄鋼共同体(ECSC) 1958年 欧州経済共同体(EEC) 1967年 欧州共同体(EC) 1993年 欧州連合(EU)

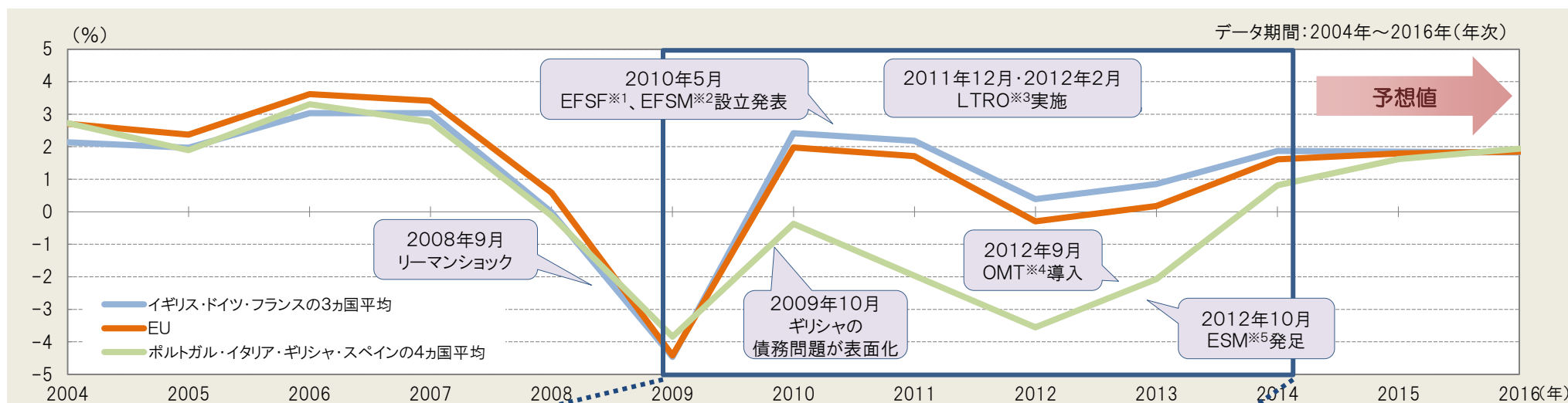
出所)各種資料等をもとにニッセイアセットマネジメント作成
上記はEU加盟国およびEU加盟候補国を記載しております。



回復が見込まれる欧州経済、債務懸念も後退

- 欧州経済は2008年のリーマンショックや2009年以降の南欧諸国の債務問題の影響等から、長く低迷が続いていましたが、今後は回復が見込まれています。
- 南欧諸国の国債の利回りも、各種の政策対応を受け債務問題が懸念される以前に近い水準にまで低下しています。

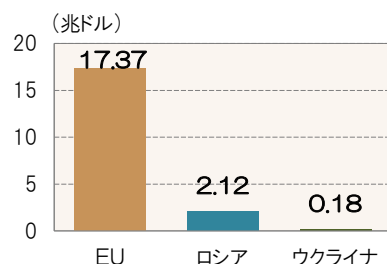
経済成長率の推移



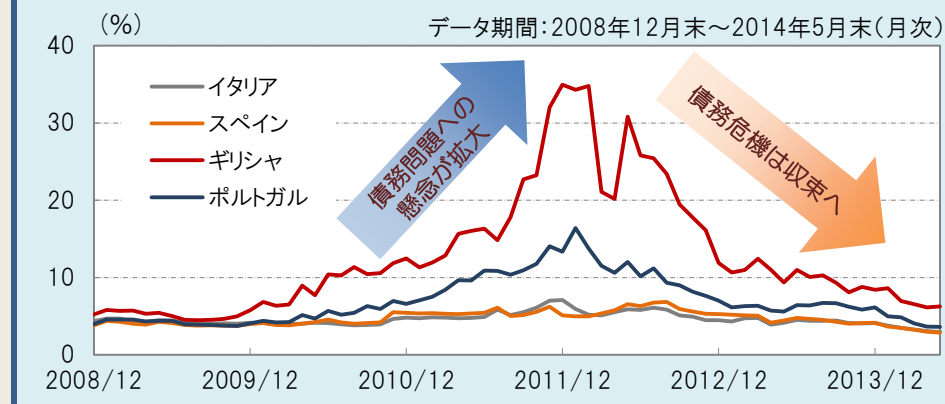
ご参考

地政学リスクが懸念されるウクライナのエconomic規模は、EUの100分の1程度となっています。

【2013年の各国・地域のGDP】



【南欧諸国の10年国債利回りの推移】



- ※1 EFSF: 欧州金融安定ファシリティ
- ※2 EFSM: 欧州金融安定メカニズム
- ※3 LTRO: 供給上限を定めない期限3年の長期オペレーション
- ※4 OMT: 国債買い入れプログラム
- ※5 ESM: 欧州安定メカニズム

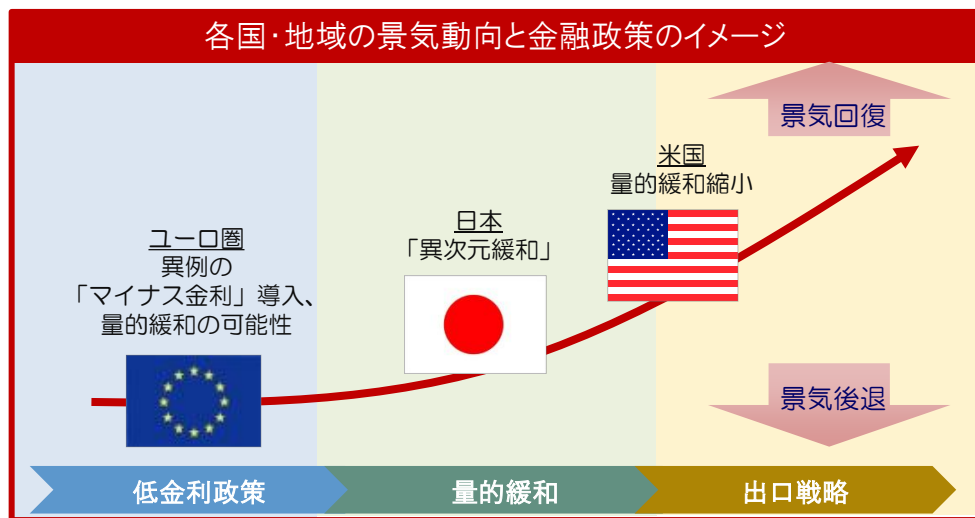
	左記期間中 最高利回り (月次データ)	2014年 5月末
イタリア	7.1%	3.0%
スペイン	6.9%	2.9%
ギリシャ	35.0%	6.3%
ポルトガル	16.4%	3.6%

出所)IMF、ブルームバーグのデータ、各種資料等をもとにニッセイアセットマネジメント作成

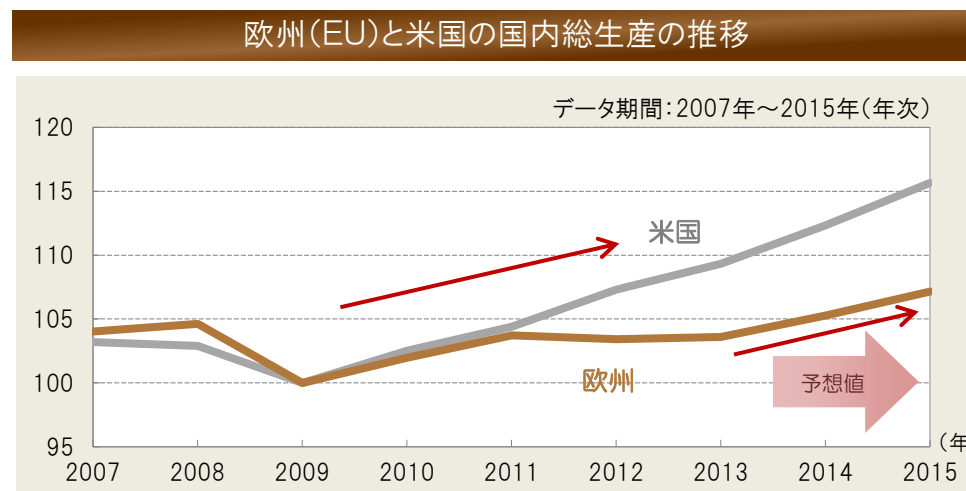
欧州は未だ景気回復の初期段階



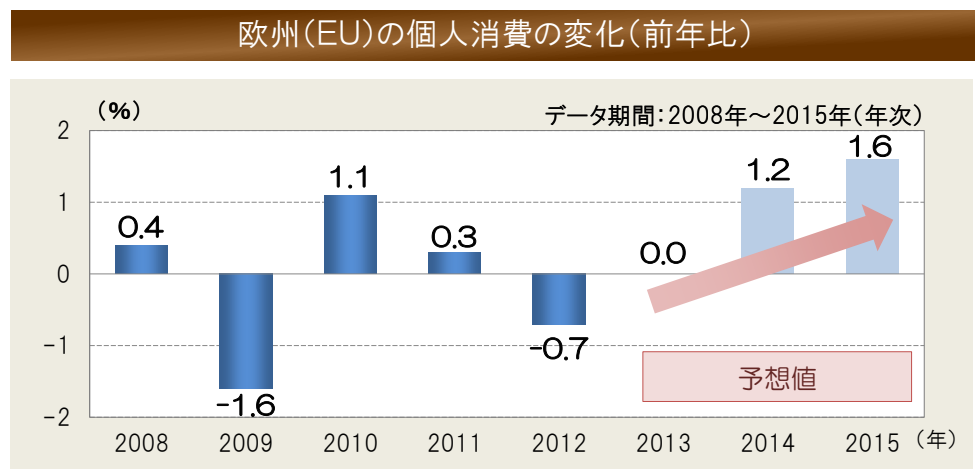
- 先行して景気回復を遂げた米国は既に量的緩和政策の縮小に着手しています。南欧諸国の債務問題の影響等もあり、欧州では景気の回復が遅れていましたが、今後は個人消費・設備投資ともに回復が見込まれています。
- 景気回復の初期段階にある欧州では、今後、実体経済や企業業績の回復に伴い株価の上昇が期待されます。



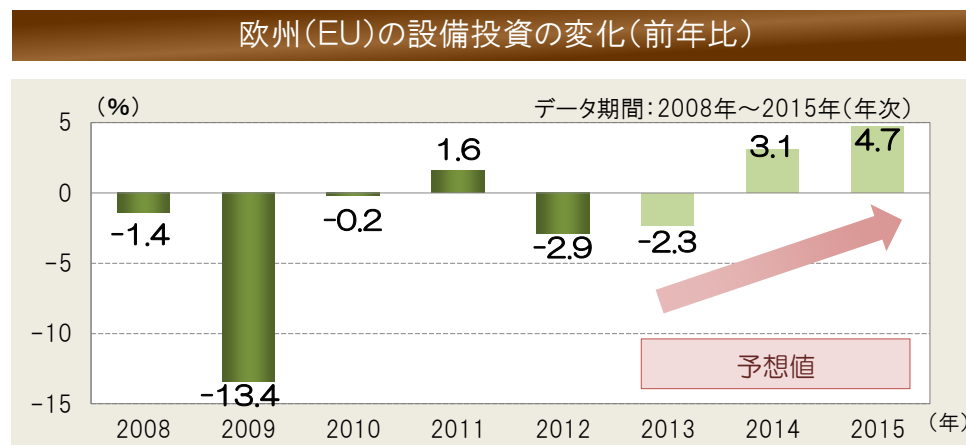
上記はイメージ図です。



出所) IMFのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
2009年を100として指数化



出所) 欧州委員会のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成



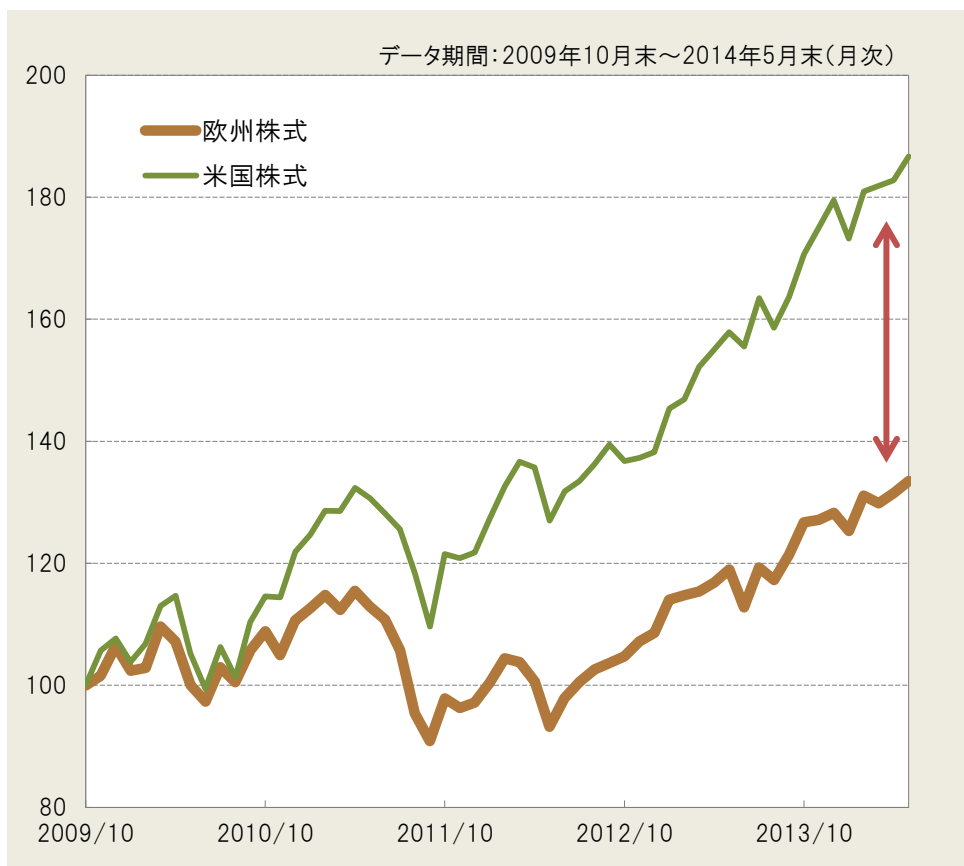
出所) 欧州委員会のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

出遅れた欧州株式、各種指標は割安を示唆



- 株価の推移をみると、欧州株式は米国株式に比べ相対的に出遅れていることが確認されます。
- PER(株価収益率)やPBR(株価純資産倍率)等の指標は、米国に比べ欧州が割安であることを示唆しています。また、2014年5月末現在、欧州株式のPERやPBRは2000年以降の平均値と比較しても低い水準となっています。

株価の推移



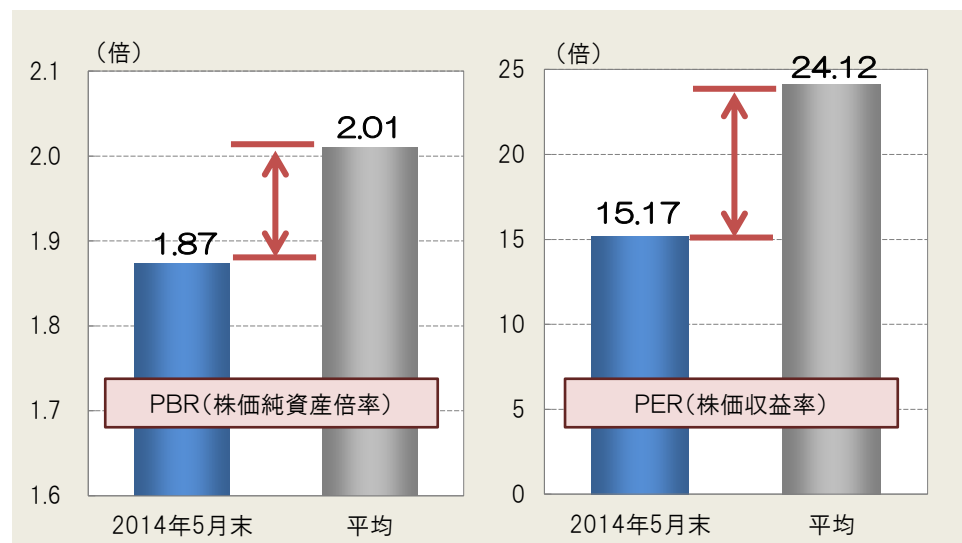
欧州株式:MSCI Europe、米国株式:MSCI USA、先進国株式:MSCI World

各種バリュエーション指標等

2014年5月末

	欧州株式	米国株式	先進国株式
実績配当利回り	3.62%	1.91%	2.54%
実績PBR(倍)	1.87	2.72	2.15
予想PER(倍)	15.17	16.58	15.75

欧州株式 2014年5月末現在と2000年以降の平均値の比較

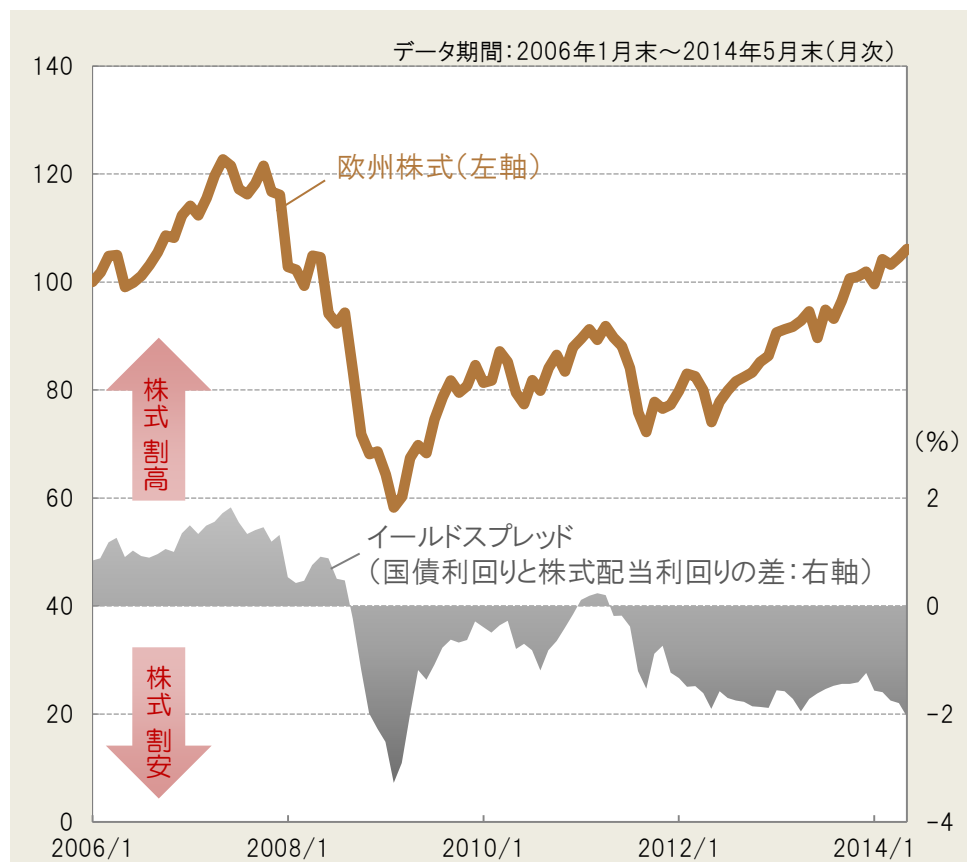


イールドスプレッドの推移と株価の動向

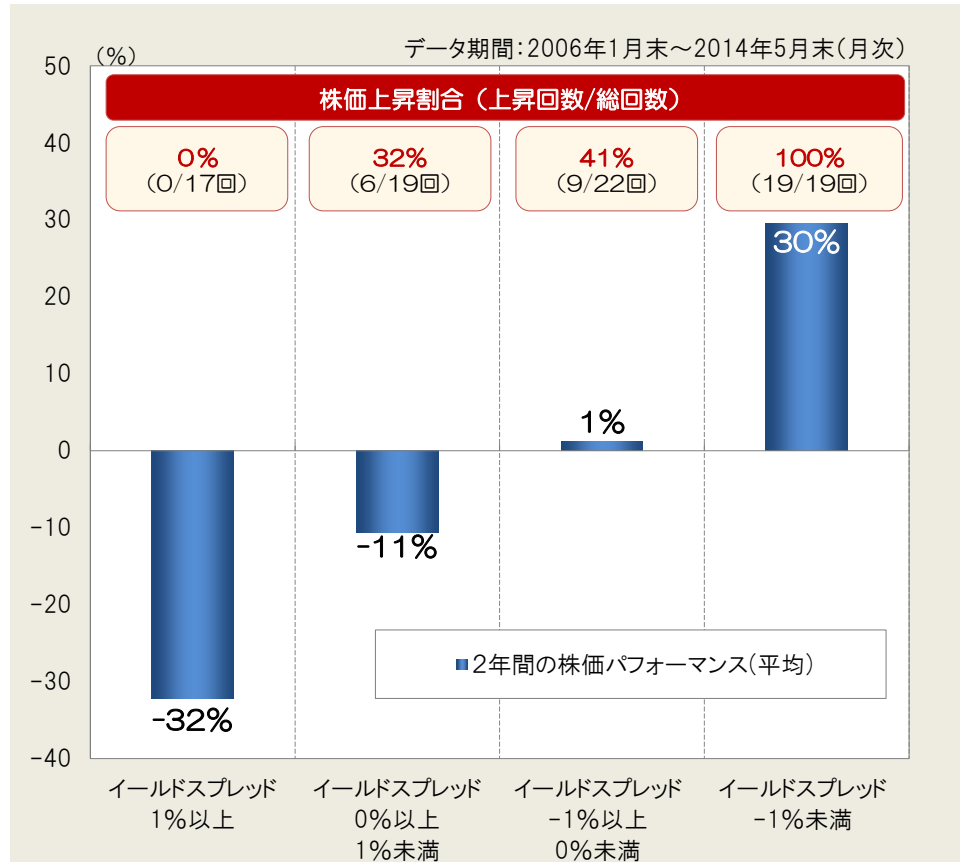


- 足元のイールドスプレッドは、約-2%にまで拡大しており、欧州株式が割安であることを示唆しています。
- 過去のデータをもとに、イールドスプレッドの水準別にその後2年間の株価パフォーマンスをみると、株式が割安な際には良好なパフォーマンスを示してきたことが確認できます。

欧州株式 株価とイールドスプレッドの推移



欧州株式 イールドスプレッド水準別の株価パフォーマンスと上昇割合



株式 割高

株式 割安

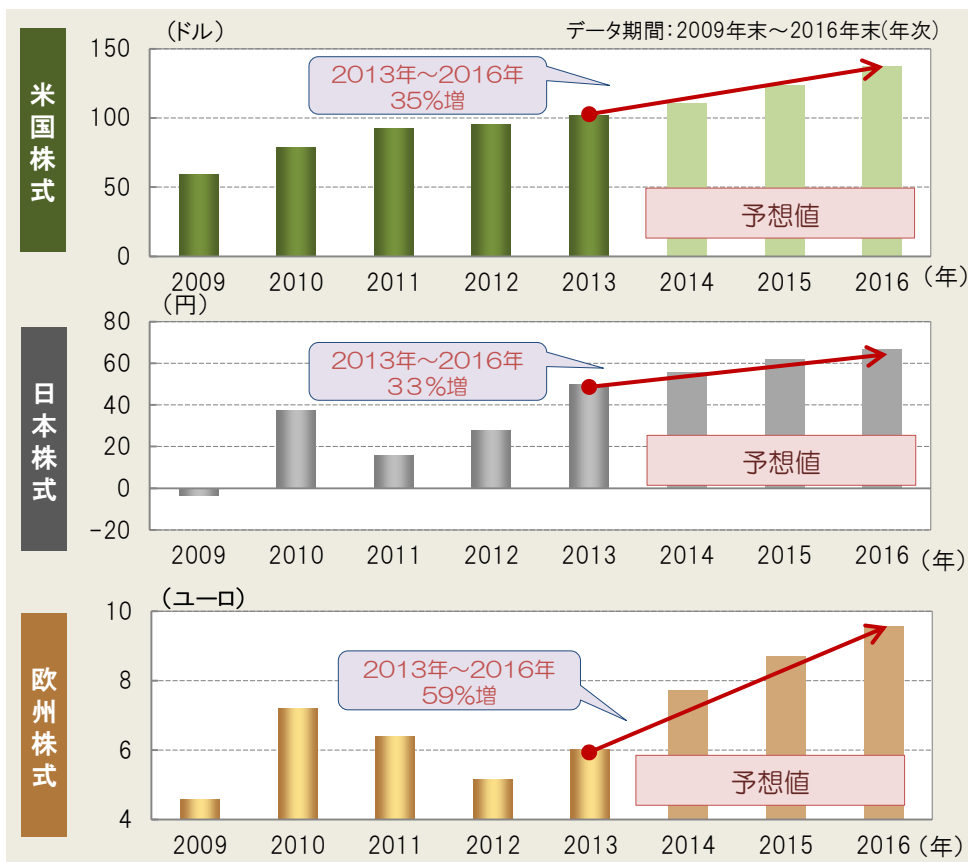
出所)FactSet、ブルームバーグ、シティのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
 欧州株式:MSCI Europe
 2006年1月末を100として指数化(現地通貨ベース)
 イールドスプレッド:シティ欧州世界国債インデックスの最終利回り - 欧州株式配当利回り

企業業績は堅調、上昇が期待される欧州株式

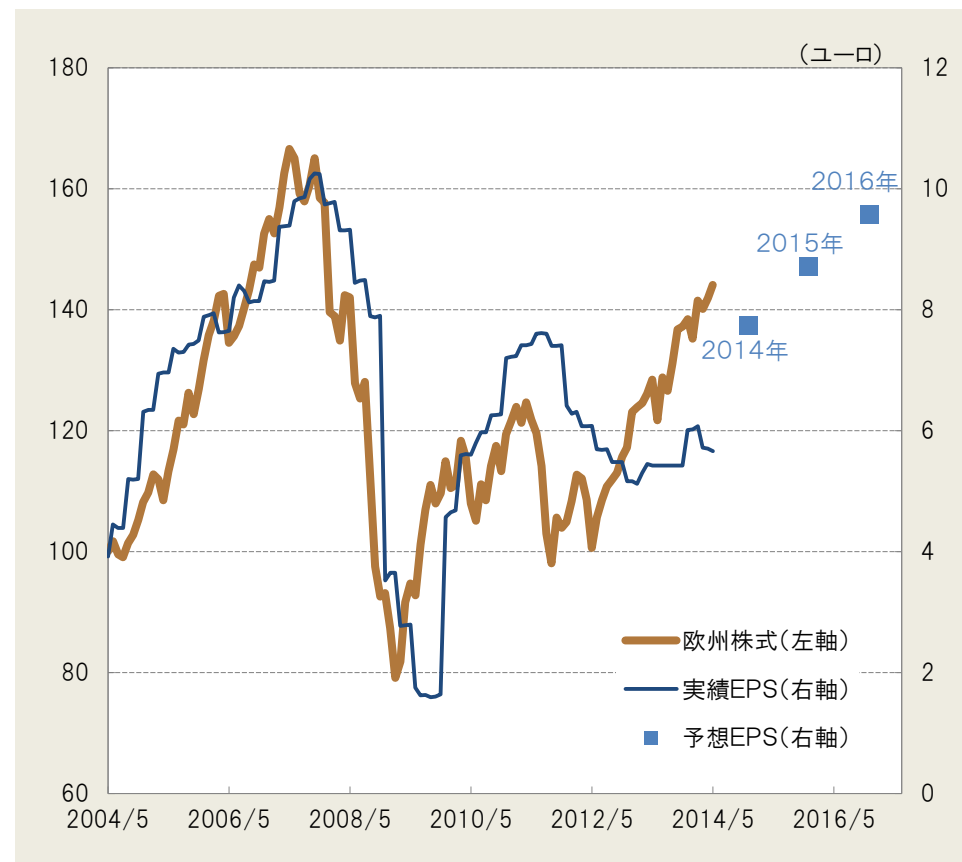


- 先行して景気回復を遂げた米国では、企業収益が順調に拡大してきました。また、日本ではアベノミクス効果もあり、2013年に大幅増益となっています。
- 欧州では南欧諸国の債務問題の影響等から2010年以降も企業収益は低迷していましたが、今後は実体経済の回復を受け、米国や日本を上回る高い伸びが見込まれています。出遅れていた欧州の株価も、企業業績の拡大とともに今後の上昇が期待されます。

EPS(1株当たり純利益)の推移



欧州株式 株価と企業業績の推移



出所) FactSet、ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

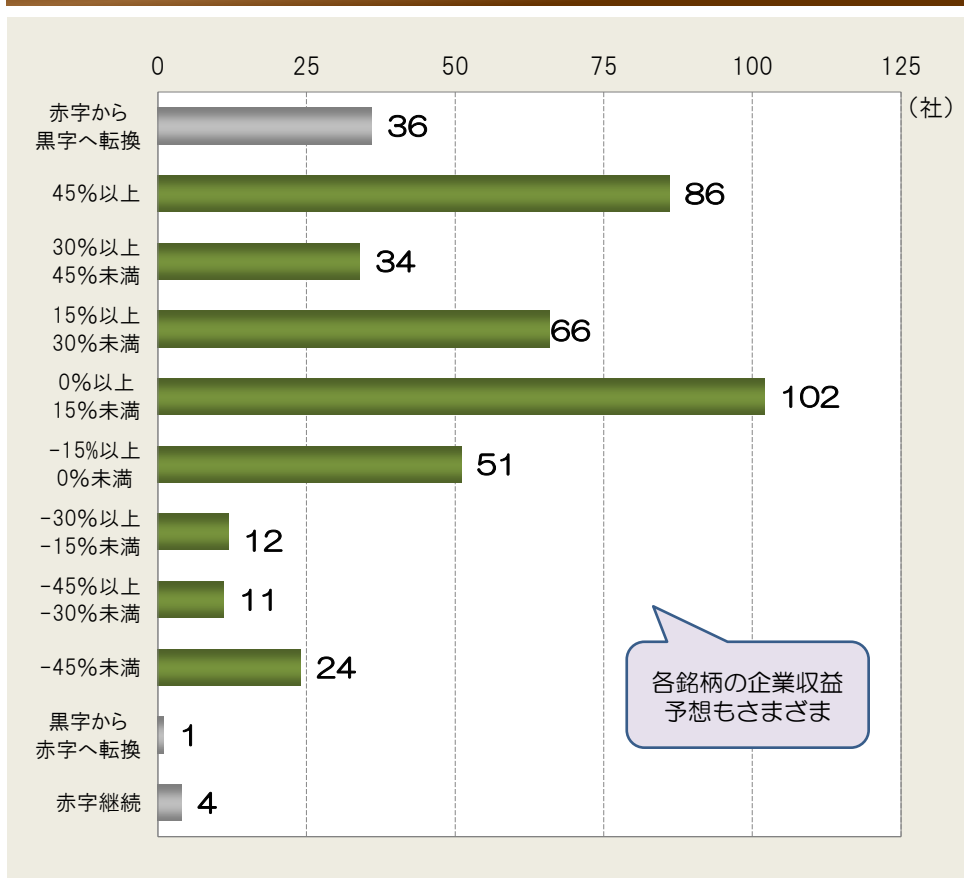
欧州株式: MSCI Europe、米国株式: MSCI USA、日本株式: MSCI 日本、予想EPS(1株当たり純利益)は2014年6月現在のブルームバーグ集計値。

銘柄間の格差は大きい、問われる銘柄選択のチカラ

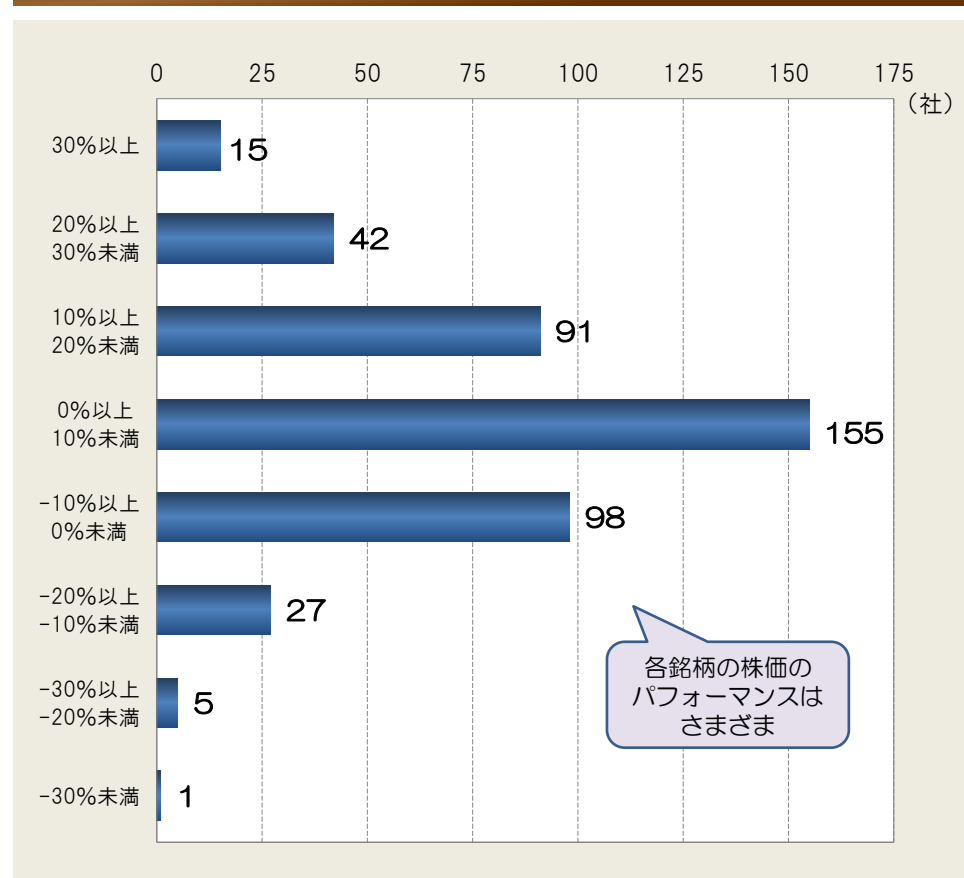


- 景気回復の初期段階にある欧州では、未だ赤字から抜け出せない企業もあれば、既に業績拡大に転じている企業もあるなど銘柄間の格差が大きい状況です。
- 株価パフォーマンスの格差も大きく、銘柄選択によって運用成果が大きく左右される状況です。当ファンドでは投資銘柄を厳選し、市場平均を上回る運用成果の獲得をめざします。

欧州株式構成銘柄 EPS(1株当り純利益)成長率の分布



欧州株式構成銘柄 過去半年間の株価パフォーマンスの分布



出所)FactSet、ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
 欧州株式:MSCI Europe

EPS(1株当り純利益)成長率:2014年6月現在のブルームバーグ集計値をもとに2014年の成長率を算出
 株価パフォーマンス:2014年5月末現在(現地通貨ベース)
 2014年6月現在、データが取得可能な銘柄のみを用いて作成。

徹底した調査・分析に基づく厳選投資



- 当ファンドでは企業の経営効率に着目、企業規模等を問わず、今後の株価上昇に対する確信度の高い銘柄に厳選して投資します。
- 景気回復の初期においては赤字から黒字へ転換する企業等も多く、表面上の財務データを分析するだけでは適切な投資判断を下すことは困難です。当ファンドでは経営層とのミーティング等を通じて徹底した調査・分析を実施、投資銘柄を厳選します。

ポートフォリオ構築プロセス

欧州の上場銘柄(約4,000銘柄)

① 投資不適格銘柄の排除
流動性の低い銘柄、信用リスクの高い銘柄を排除

② 経営効率の観点から投資候補銘柄を抽出
ROE等からみて、経営効率の高い銘柄を抽出

投資ユニバース(約400銘柄)

③ 情報収集、分析、意見のすり合わせ

④ バリュエーション評価
適正株価を算出し、市場価格との乖離を確認

⑤ 投資銘柄・ウェイトの決定
業種配分、リスクコントロールの観点から組入銘柄・投資ウェイトを決定

ポートフォリオ
約40～60銘柄

企業の経営効率を総合的にはかる指標 ROE(自己資本利益率)

- ROE(Return On Equityの略称)は、当期利益を自己資本(株主資本)で割って算出。
- 『株主が投下した資本に対して、どれだけの利益を上げているか?』を示す。
- ROEは企業の効率性を示す3つの要素、「資本効率」・「資産効率」・「利益率」に分解できる。
- 高水準のROEを安定的に確保できる企業は、株主価値の増加の観点から投資魅力度が高いと判断される。
- 経営効率を総合的にはかる指標ROEは、外国人投資家にも重視されている。

$$ROE = \frac{\text{当期利益}}{\text{自己資本(株主資本)}}$$

$$ROE = \frac{\text{総資産額}}{\text{自己資本}} \times \frac{\text{売上高}}{\text{総資産額}} \times \frac{\text{当期利益}}{\text{売上高}}$$

1 資本効率 (財務レバレッジ)
自己資本に対する総資産額(自己資本+負債)の倍率。負債の活用度合いを示す。

2 資産効率 (総資産回転率)
総資産が売上高に対して有効に活用されているかを示す。

3 利益率 (売上高当期利益率)
売上高に対してどれだけ利益が生み出されているかを示す。

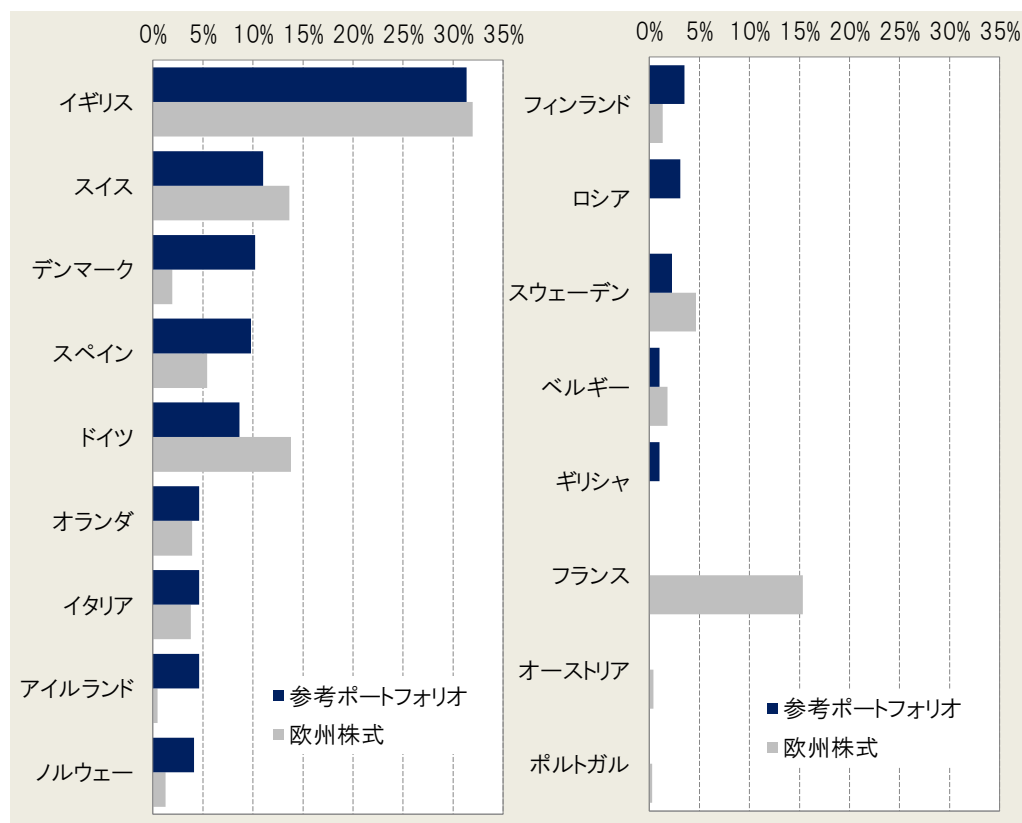
※上記運用プロセスや銘柄数は2014年6月現在のものであり、今後変更となる可能性があります。

厳選投資による特徴あるポートフォリオ



- 51銘柄で構成された当ファンドの参考ポートフォリオの概要は以下の通りですが、代表的な市場インデックスに比べ、国別ではデンマークやスペイン、アイルランド等の比率が、サイズ別では中小型銘柄の比率が高くなっています。

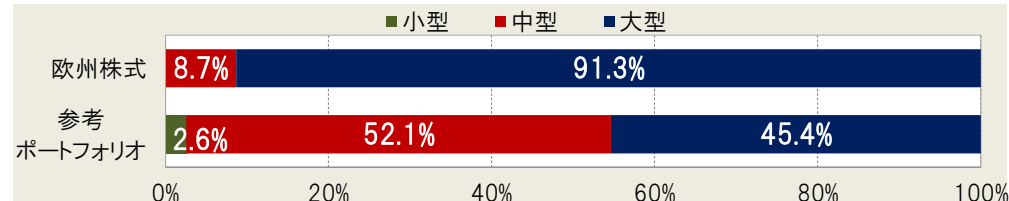
国別構成比



※対組入株式評価額比

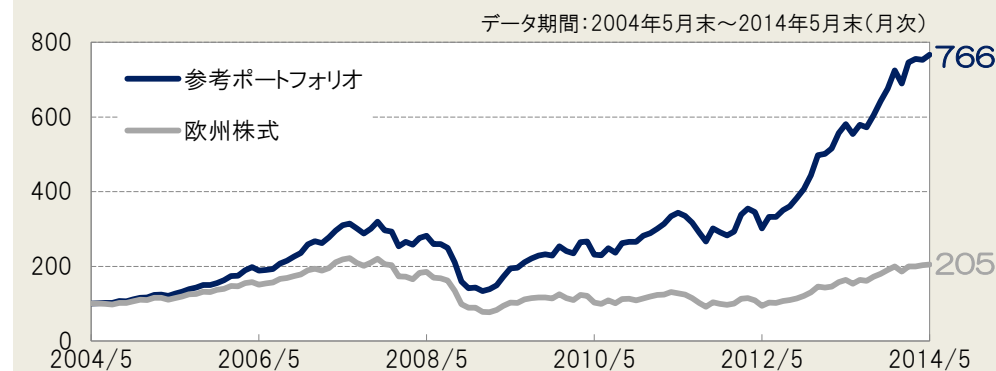
※国はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

サイズ別構成比



※時価総額100億ドル以上を大型、20億ドル以上100億ドル未満を中型、20億ドル未満を小型としています。

パフォーマンスの推移



2004年5月末を100として指数化(円ベース)

上記は参考ポートフォリオのパフォーマンスを示すシミュレーションであり、実際のファンドの運用実績ではありません。将来の運用成果等を保証するものではありません。

出所)FactSet、ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

欧州株式:MSCI Europe(配当込み)

※四捨五入の関係で、上記グラフの合計が100%にならない場合があります。

参考ポートフォリオとは、これから運用を開始するファンドのイメージをつかんで頂くための仮のポートフォリオのことです。ファンドの実際のポートフォリオとは異なりますので、あくまでご参考としてお考えください。参考ポートフォリオに関する情報は2014年6月現在の市場環境に基づいて作成したものであり、実際の組入銘柄・組入比率・銘柄数等は、運用担当者の判断、市況動向、ファンドの資金動向等により変わります。将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。また、特定の銘柄の推奨を意図するものではありません。

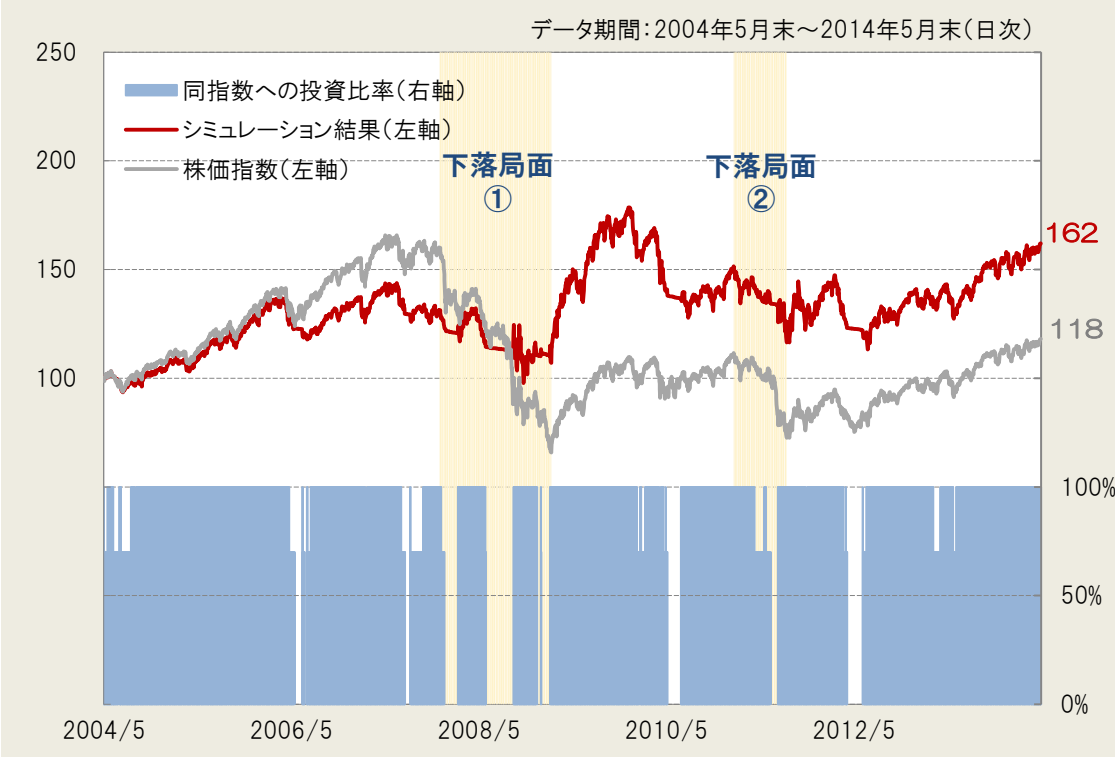
組入比率をコントロール、下落時の影響を低減



- 『リスクコントロールコース』では、『フルインベストメントコース』と同じく**株価上昇が見込まれる銘柄に厳選し投資**を行います。
- 更に、『リスクコントロールコース』では、**株価指数先物取引の活用**等により“実質的”な株式の組入比率をコントロール、株式市場下落時の影響を低減しパフォーマンスの向上をめざします。

以下は株価指数(ユーロ・ストックス50)の価格変動率に着目し、一定の基準に基づき、同指数への投資比率を変動させた場合のシミュレーションとなりますが、相対的に良好なパフォーマンスを示しています。

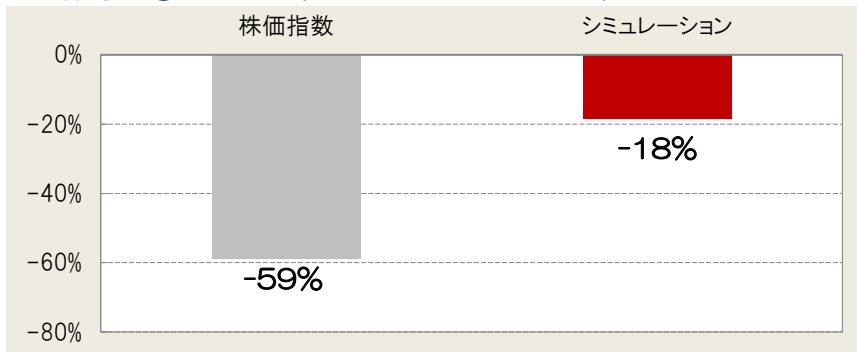
株価指数(ユーロ・ストックス50)の価格変動率に着目したシミュレーション



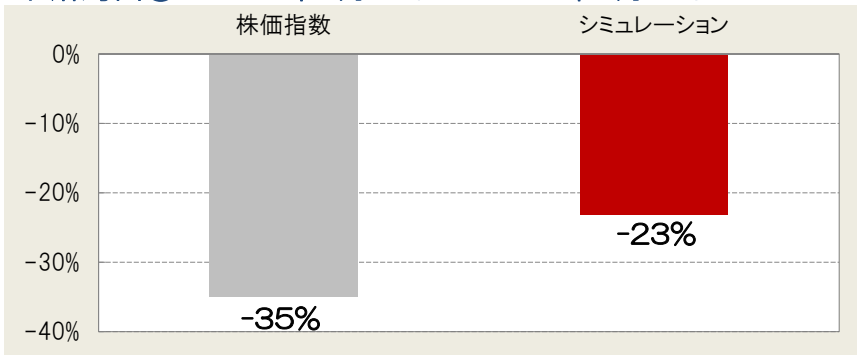
出所)ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成(現地通貨ベース)
2004年5月末を100として指数化

株価下落局面のパフォーマンス

下落局面① 2007年12月31日～2009年3月9日



下落局面② 2011年2月18日～2011年9月12日



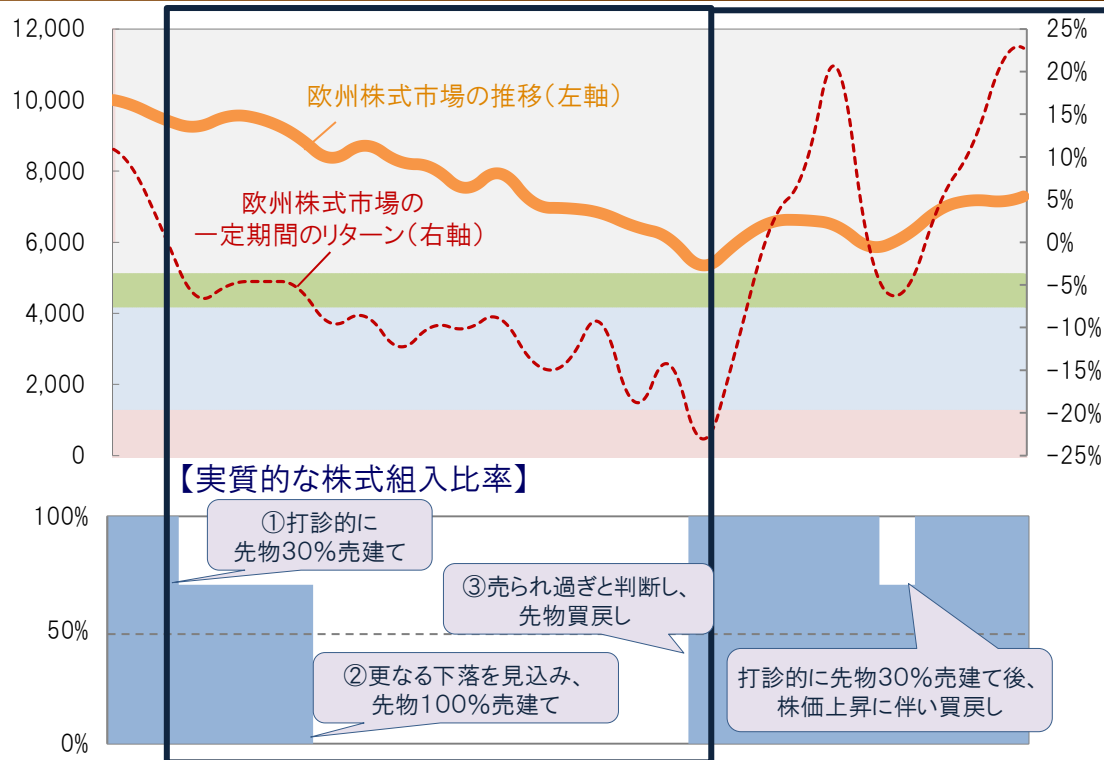
上記シミュレーションは、株価指数への投資比率を上記の通り変動させた場合のパフォーマンスの推移を示したものです。手数料、税金等諸費用は考慮していません。なおキャッシュ保有のリターンは0%としています。当ファンドの運用成果を示唆、保証するものではありません。組入比率の変動がパフォーマンスの低下要因となる場合もあります。



定量分析に定性判断を加え、組入比率をコントロール

- 実際のファンドの運用にあたっては、株価水準の変動等についての定量分析をベースに、運用担当者による定性判断を加え、**大胆かつ機動的に組入比率をコントロール**します。
- 株式市場の下落が懸念される場合、打診的に先物を売建て“実質的”な株式の組入比率を引き下げ、本格的に下落すると判断すれば、“実質的”な株式の組入比率を0%とします。尚、売られ過ぎと判断すれば、下落の最中であっても、株価の反発に備え組入比率を引き上げます。

市場動向とリスクコントロールコースのイメージ



局面別投資行動の例 ～「下落初期ゾーン」の場合

現物株式の組入比率 100%
先物売建て比率 30%
“実質的”な株式組入比率 70%

【局面別 投資行動】	発生確率※
実質的な株式組入比率100%	75.6%
①打診的に先物を30%売建て 下落初期ゾーン:実質的な株式組入比率70%	8.8%
②更なる下落を見込み 先物を100%売建て 本格下落ゾーン:実質的な株式組入比率0%	11.7%
③売られ過ぎと判断し、先物を買戻す 売られ過ぎゾーン:実質的な株式組入比率100%	3.9%

※上記発生確率は、P13のシミュレーションに際し参照した株価指数の一定期間のリターンが各ゾーンにあった営業日数の分布を示しています。

『リスクコントロールコース』の収益の源泉は、“組入比率のコントロール”と“厳選投資による銘柄選択効果”!

上記は市場動向とリスクコントロールコースのイメージを示したものです。市場動向や株式組入比率等は仮定の数値を用いており、実際のファンドの投資行動ではありません。組入比率の変動がパフォーマンスの低下要因となる場合もあります。また、ファンドが保有する株式と株価指数先物は値動きが異なるため、実質的な株式の組入比率を引下げた場合でも、基準価額の変動リスクが低減されない場合があります。当ファンドの運用成果を示唆、保証するものではありません。



“組入比率の違い”は“パフォーマンスの違い”を生じる

- 以下は簡便な例ですが、組入比率を適切にコントロールすることができれば、パフォーマンスの向上が期待されます。

組入比率を常に100%としていた場合

＜株価と株式組入比率の推移＞

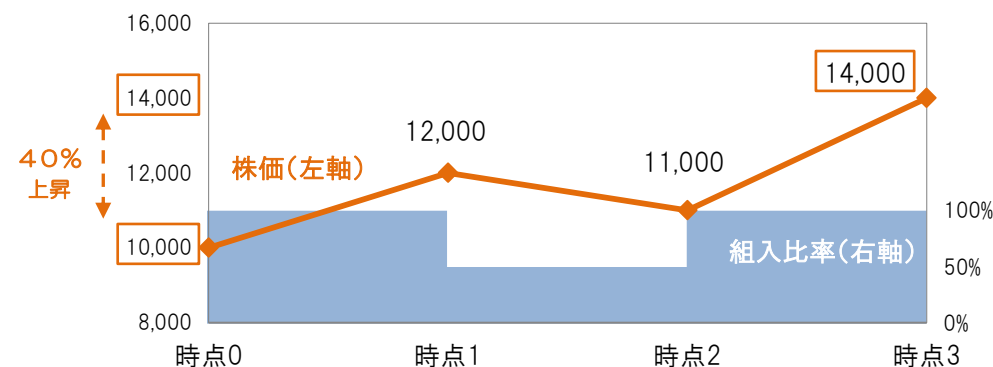


＜パフォーマンスの推移＞



下落時に組入比率を引下げ、上昇時に組入比率を上げていた場合

＜株価と株式組入比率の推移＞



＜パフォーマンスの推移＞



上記は仮定の数値を用いて、組入比率の違いがパフォーマンスの違いを生じることを示したものです。なおキャッシュ保有のリターンは0%、パフォーマンスの推移は時点0を10,000円としています。当ファンドの運用成果を示唆、保証するものではありません。組入比率の変動がパフォーマンスの低下要因となる場合もあります。

参考ポートフォリオの主要組入銘柄



主な組入銘柄（組入銘柄数:51）

銘柄名	国	業種	企業概要
ロシュ・ホールディング	スイス	ヘルスケア	1896年に設立されたスイスの世界的な製薬・ヘルスケア企業。8万人以上の従業員が在籍し、150カ国で製品を販売。
ロールス・ロイス・ホールディングス	英国	資本財	旅客機や高度な軍用機用エンジン等を製造する世界的企業。150カ国以上の地域に顧客をもち、50カ国以上の地域で事業展開をしている。
ノボ・ノルディスク	デンマーク	ヘルスケア	デンマークに本社を置く糖尿病ケアのリーディングカンパニー。インスリンの世界シェアは約49%で、展開する全地域でNo. 1のシェアを誇る。
アマデウスITホールディング	スペイン	情報技術	スペインの旅行・航空業界向けにITソリューションを提供する大手プロバイダー。欧州で、旅行会社向けのチケット予約システムや顧客管理の分野で高いシェアを誇る。
BASF	ドイツ	素材	ドイツに本社を置く世界をリードする化学会社。グループ全体で約11万人の従業員を擁し、世界中でビジネスを展開。
ノボザイムス	デンマーク	素材	産業用酵素、微生物、生体高分子をコアビジネスとするデンマークのバイオテク会社。6,200人以上の従業員が在籍し、700のバイオテクノロジー製品を130カ国で販売。
グリーンコア・グループ	アイルランド	生活必需品	英国やアイルランド、その他欧州や米国において加工食品を提供する食品メーカー。英国における冷凍食品などの幅広い分野で大きなシェアを誇る。
ボルサ・イ・メルカードス・エスパニョーレス	スペイン	金融	スペインの証券取引所運営会社。株式、債券、デリバティブ市場および清算・決済システムを管理する。
インターコンチネンタル・ホテルズ・グループ	英国	一般消費財	世界中の国や地域で多様なブランドのフランチャイズ・ホテルを経営。中核のインターコンチネンタル ホテルズ&リゾーツでは世界60カ国で5つ星のホテルやリゾートを展開。
パートナーズ・グループ・ホールディング	スイス	金融	スイスに本社を置く、プライベートエクイティや民間インフラ、不動産等を扱うインベストメントマネージャー。700人以上の従業員が在籍。

出所)ブルームバーグ等のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成 国はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。以下同じです。

※上記は2014年6月現在の参考ポートフォリオ(51銘柄)のうち、主要な組入銘柄を示したものです。特定の銘柄を推奨するものではなく、また、当該銘柄を組入れることを保証するものではありません。

参考ポートフォリオとは、これから運用を開始するファンドのイメージをつかんで頂くための仮のポートフォリオのことで、ファンドの実際のポートフォリオとは異なりますので、あくまでご参考としてお考えください。参考ポートフォリオに関する情報は2014年6月現在の市場環境に基づいて作成したものであり、実際の組入銘柄・組入比率・銘柄数等は、運用担当者の判断、市況動向、ファンドの資金動向等により変わります。将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。また、特定の銘柄の推奨を意図するものではありません。

運用担当者が注目する銘柄のご紹介①



ノボ・ノルディスク

業種：ヘルスケア

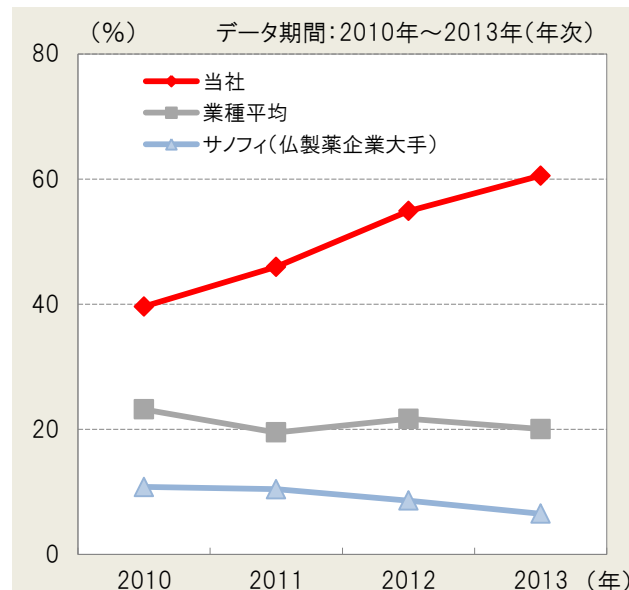
国：デンマーク



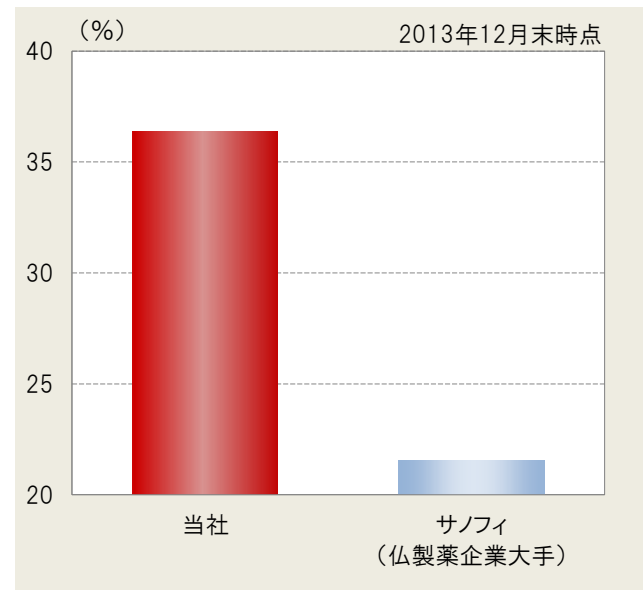
	2013年	2010年
ROE (①×②×③)	60. 5%	39. 6%
資本効率 (①)	1. 63(倍)	1. 60(倍)
資産効率 (②)	122. 9%	104. 7%
利益率 (③)	30. 1%	23. 7%

- ✓ デンマークに本社を置く糖尿病ケアのリーディングカンパニー。
- ✓ インスリンの送達システムやその他糖尿病治療薬を提供。
- ✓ 現在では、糖尿病に加え、止血管理や成長障害、代替ホルモン治療などの分野も手掛ける。
- ✓ インスリンの世界シェアは49%を獲得。欧州で50%、日本・韓国で52%、中国で60%など、全地域でNo.1のシェアを獲得(2012年)。

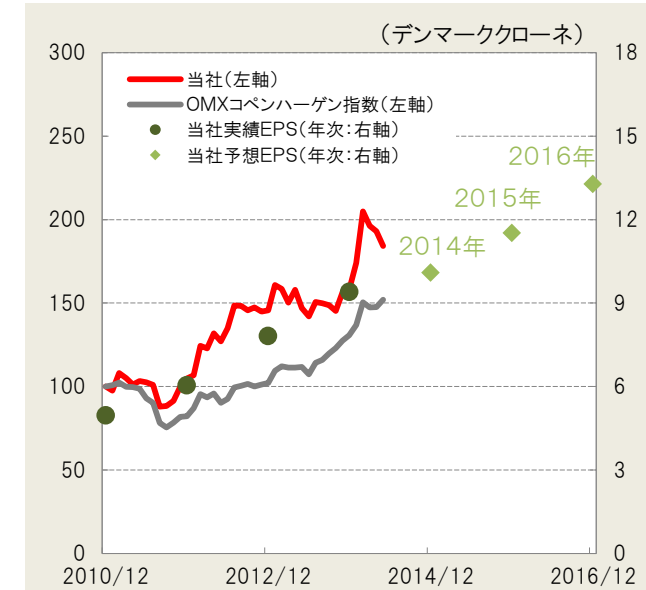
ROE(自己資本利益率)の推移



3年平均営業利益率の比較



株価とEPS(1株当り純利益)の推移



出所)FactSet、ブルームバーグ、同社IR資料等のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
当社のROE、資産効率等は財務データをもとにニッセイアセットマネジメントが算出、ROEの業種平均はMSCI Europeのデータを使用。

株価は2010年12月末を100として指数化(現地通貨ベース)
データ期間：2010年12月末～2014年5月末(月次)
予想EPS(1株当り純利益)は2014年6月現在のブルームバーグ集計値

上記の企業はあくまでも参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに組み入れることを示唆、保証するものではありません。

運用担当者が注目する銘柄のご紹介②



アマデウスITホールディング

業種：情報技術

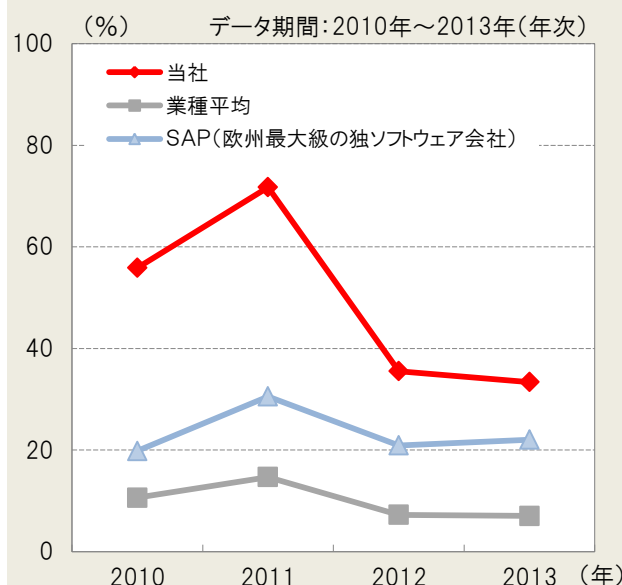
国：スペイン



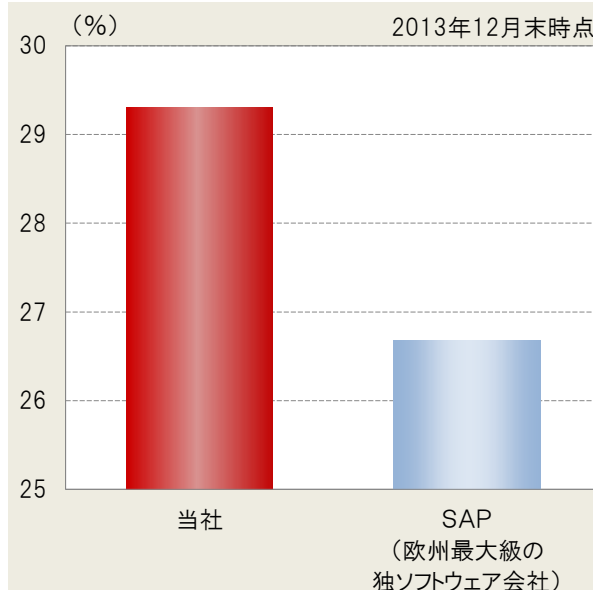
- ✓ 旅行・航空業界向けにITソリューションを提供するスペインの大手プロバイダー。
- ✓ “イノベーション”を重視し、総収入の14.2%を研究開発に投資(2012年)。2013年に、ヨーロッパ委員会(EC)の旅行観光部門における「EU研究開発投資」のスコアボードで投資額第1位。
- ✓ 195カ国で事業を展開し、11,000人超の社員が在籍。
- ✓ 欧州で、旅行会社向けのチケット予約システムや顧客管理システムの分野で高いシェアを誇る。

	2013年	2010年
ROE (①×②×③)	33.4%	55.9%
資本効率 (①)	3.14(倍)	22.25(倍)
資産効率 (②)	58.7%	47.6%
利益率 (③)	18.1%	5.3%

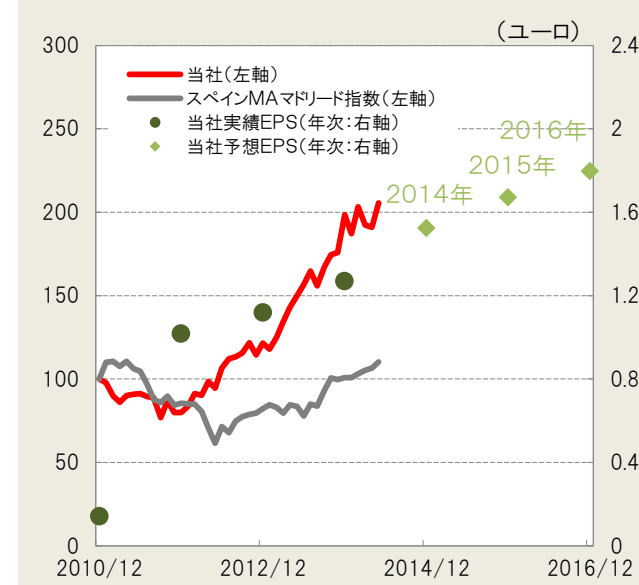
ROE(自己資本利益率)の推移



3年平均営業利益率の比較



株価とEPS(1株当り純利益)の推移



出所)FactSet、ブルームバーグ、同社IR資料等のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
 当社のROE、資産効率等は財務データをもとにニッセイアセットマネジメントが算出、ROEの業種平均はMSCI Europeのデータを使用。

株価は2010年12月末を100として指数化(現地通貨ベース)
 データ期間：2010年12月末～2014年5月末(月次)
 予想EPS(1株当り純利益)は2014年6月現在のブルームバーグ集計値

上記の企業はあくまでも参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに組み入れることを示唆、保証するものではありません。

運用担当者が注目する銘柄のご紹介③

グリーンコア・グループ

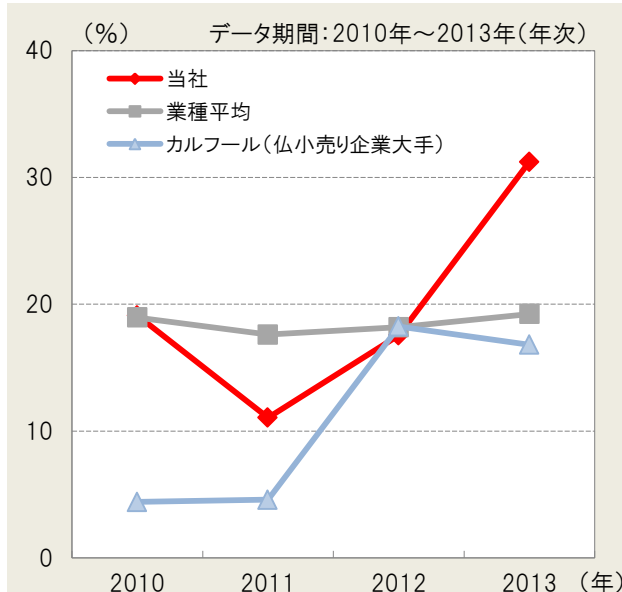
業種：生活必需品 国：アイルランド



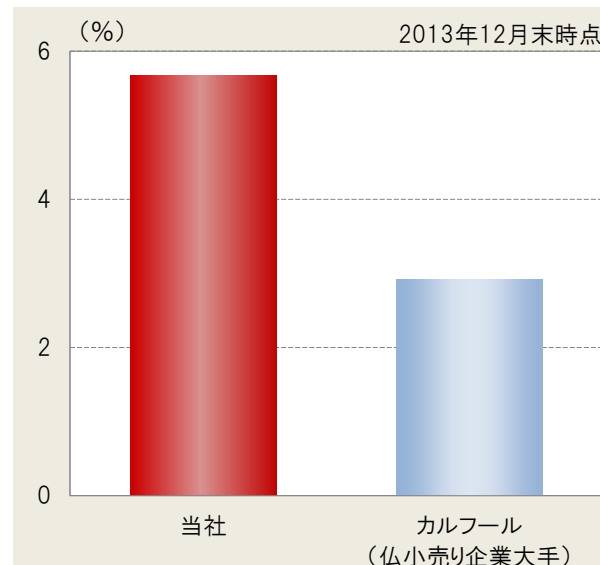
	2013年	2010年
ROE (①×②×③)	31.2%	19.1%
資本効率 (①)	4.49(倍)	5.31(倍)
資産効率 (②)	118.0%	89.8%
利益率 (③)	5.9%	4.0%

- ✓ アイルランドの食品メーカー。
- ✓ 1991年にアイルランドで国営企業の民営化により設立。
- ✓ 英国やアイルランド、その他欧州や米国において、主要な小売業、製造業、外食業の顧客に加工食品を提供。11,000人の従業員が在籍。
- ✓ 英国における冷凍食品などの幅広い分野で大きなシェアを誇り、プライベートブランドのソースやデザートなどは英国でのマーケットシェアが第1位。

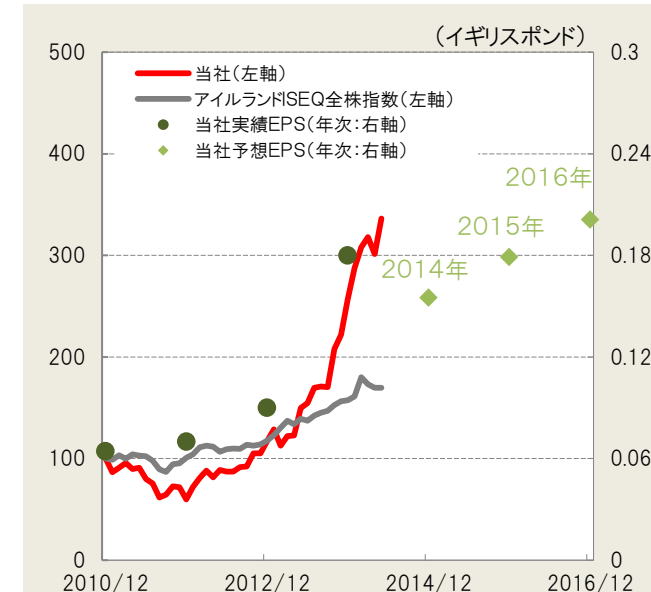
ROE(自己資本利益率)の推移



3年平均営業利益率の比較



株価とEPS(1株当り純利益)の推移



出所)FactSet、ブルームバーグ、同社IR資料等のデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
当社のROE、資産効率等は財務データをもとにニッセイアセットマネジメントが算出、ROEの業種平均はMSCI Europeのデータを使用。

株価は2010年12月末を100として指数化(現地通貨ベース)
データ期間：2010年12月末～2014年5月末(月次)
予想EPS(1株当り純利益)は2014年6月現在のブルームバーグ集計値

上記の企業はあくまでも参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに組み入れることを示唆、保証するものではありません。

ファンドの特色



1 欧州各国の株式の中から、株価上昇が期待される銘柄に厳選して投資を行います。

- 外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジ*は行いません。

※ 為替ヘッジとは、為替変動による資産価値の変動を回避する取引のことをいいます。

❗ 基準価額は、為替変動の影響を直接的に受けます。

＜ご参考＞ 2014年6月現在、投資対象国は以下の21カ国となります。

アイルランド、イギリス、イタリア、オーストリア、オランダ、ギリシャ、スイス、スウェーデン、スペイン、チェコ、デンマーク、ドイツ、トルコ、ノルウェー、ハンガリー、フィンランド、フランス、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、ロシア。

※投資対象国は、今後変更される場合があります。

2 「フルインベストメントコース」と「リスクコントロールコース」、2つのコースから選択いただけます。

フルインベストメント コース

- 原則として、実質的な株式の組入比率は高位を保ちます。

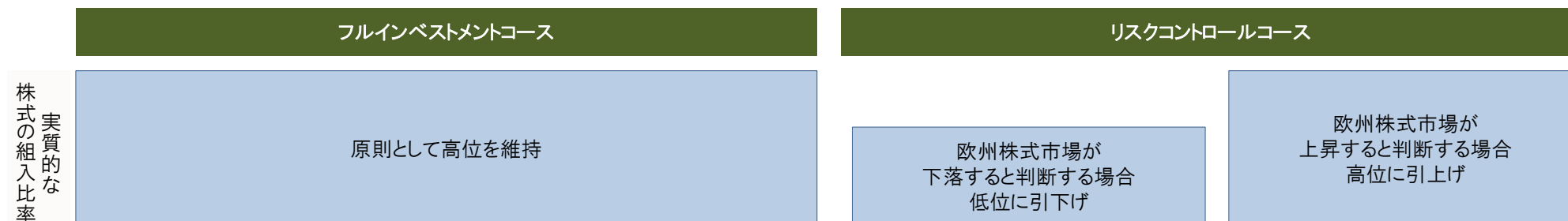
リスクコントロール コース

- 株価指数先物取引の活用等により、実質的な株式の組入比率を0～100%の範囲内でコントロールします。
- 欧州株式市場が下落すると判断する場合は実質的な株式の組入比率を引き下げ、欧州株式市場が上昇すると判断する場合は実質的な株式の組入比率を引き上げます。

- 「フルインベストメントコース」と「リスクコントロールコース」との間でスイッチング(乗換え)*を行うことができます。

※スイッチング(乗換え)とは、保有しているファンドの換金と同時に乗換えるファンドを購入する取引です。

＜イメージ＞

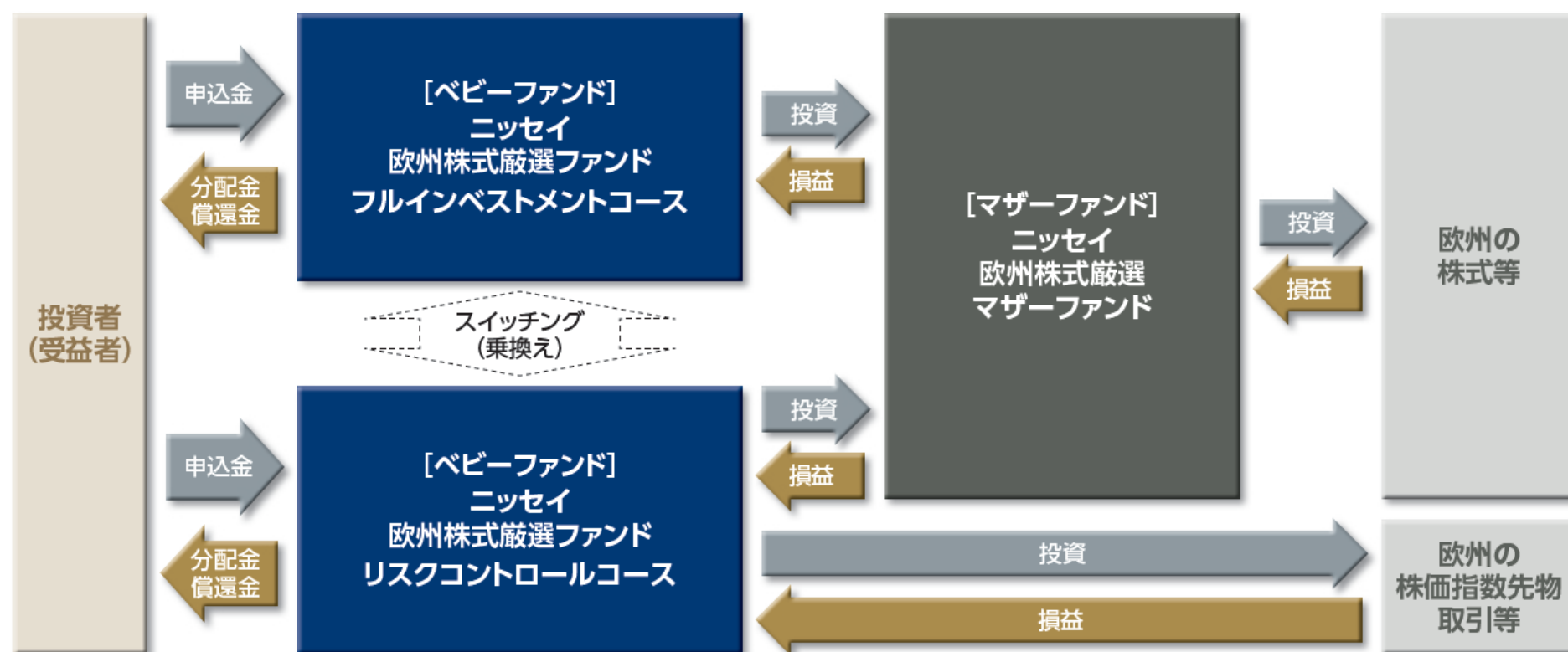


組入比率の変動がパフォーマンスの低下要因となる場合もあります。また、ファンドが保有する株式と株価指数先物は値動きが異なるため、実質的な株式の組入比率を引き下げた場合でも、基準価額の変動リスクが低減されない場合があります。

ファンドの仕組み



- ファンドは「ファミリーファンド方式」で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、投資者からの資金をまとめてベビーファンドとし、その資金をマザーファンドに投資して、その実質的な運用をマザーファンドにて行う仕組みです。



■ マザーファンドに投資する他のベビーファンドの追加設定・解約等にもとない、ファンドの基準価額が影響を受けることがあります。

投資リスク

※ご購入に際しては、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。



基準価額の変動要因

- ファンド(マザーファンドを含みます)は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクもあります)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本を割込むことがあります。
- ファンドは、預貯金とは異なり、投資元本および利回りの保証はありません。運用成果(損益)はすべて投資者の皆様のもとなりますので、ファンドのリスクを十分にご認識ください。

主な変動要因

株式投資リスク	株式は国内および国際的な景気、経済、社会情勢の変化等の影響を受け、また業績悪化(倒産に至る場合も含む)等により、価格が下落することがあります。
為替変動リスク	原則として対円での為替ヘッジを行わないため、外貨建資産については、為替変動の影響を直接的に受けます。一般に円高局面ではファンドの資産価値が減少します。
カントリーリスク	外国の資産に投資するため、各国の政治・経済情勢、外国為替規制、資本規制等による影響を受け、ファンドの資産価値が減少する可能性があります。
流動性リスク	市場規模が小さいまたは取引量が少ない場合、市場実勢から予期される時期または価格で取引が行えず、損失を被る可能性があります。
リスクコントロールに関するリスク	＜リスクコントロールコース＞ 株式市場が下落すると判断する場合、ファンドは実質的な株式の組入比率を引き下げることで、基準価額の下落リスクの軽減をめざす運用を行います。このため、以下のリスクがあります。 市場が予期しない値動きをした場合等には、当運用が効果的に機能しない可能性があり、その際には基準価額の下落リスクを軽減できない場合、あるいは株式市場の上昇に追従できない場合があります。 当運用では主に株価指数先物取引を利用しますが、ファンドの組入株式と株価指数先物の価格変動率は一致するものではありません。このため、株式の実質組入比率を引き下げるため株価指数先物を売り建てている際には、組入株式と株価指数先物の値動きの差がファンドの収益の源泉となる場合がある一方、損失となりファンドの資産価値が減少する要因となる場合があります。

- 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。
- 「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」もご確認ください。

分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの信託財産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 受益者のファンドの購入価額によっては、支払われる分配金の一部または全部が実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

ファンドの費用



お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料	購入時手数料の額(1万口当たり)は、購入金額に応じて、購入価額に次に掲げる率を乗じて得た額とします。	
	※購入金額＝(申込受付日の翌営業日の基準価額／1万口)×購入口数	
	1億円未満の場合	3.24% (税抜3.0%)
	1億円以上5億円未満の場合	1.62% (税抜1.5%)
	5億円以上10億円未満の場合	1.08% (税抜1.0%)
	10億円以上の場合	0.54% (税抜0.5%)
(注)購入時手数料は、当該購入時手数料(税抜)にかかる消費税および地方消費税8%に相当する金額を加算した場合の料率を表記しております。		
信託財産留保額	ありません。	
スイッチング手数料	スイッチング手数料はかかりません。	

(ご参考)

口数指定で購入する場合

例えば、基準価額10,000円の時に300万口ご購入いただく場合は、次のように計算します。

購入金額＝(10,000円／1万口)×300万口＝300万円

購入時手数料＝購入金額(300万円)×3.24%(税込)＝97,200円

となり、購入金額に購入時手数料を加えた合計額309万7,200円をお支払いいただくこととなります。

金額指定で購入する場合

購入金額に購入時手数料を加えた合計額が指定金額(お支払いいただく金額)となるよう購入口数を計算します。

例えば、300万円の金額指定で購入する場合、指定金額の300万円の中から購入時手数料(税込)をいただきますので、300万円全額が当該投資信託の購入金額とはなりません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	毎日、ファンドの純資産総額に年率1.836%(税抜1.7%)をかけた額とし、ファンドからご負担いただきます。
監査費用	毎日、ファンドの純資産総額に年率0.0432%(税抜0.04%)をかけた額を上限とし、ファンドからご負担いただきます。
その他の費用・ 手数料	組入価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用および借入金の利息等は、投資者(受益者)の保有期間中、その都度ファンドからご負担いただきます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を記載することはできません。

■ 当該費用の合計額、その上限額および計算方法は、運用状況および受益者の保有期間等により異なるため、事前に記載することはできません。なお、「ファンドの費用」に記載の消費税等相当額を付加した各種料率は、消費税率に応じて変更となる場合があります。

■ 詳しくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

お申込みメモ



購入単位	①当初申込期間:300万円以上1円単位 ^(注1) または300万口以上1口単位 (注1) 購入時手数料および購入時手数料に対する消費税等に相当する金額を含めて、300万円以上1円単位でご購入いただけます。 ②継続申込期間:1,000円以上1円単位 ^(注2) または1,000口以上1口単位 (注2) 購入時手数料および購入時手数料に対する消費税等に相当する金額を含めて、1,000円以上1円単位でご購入いただけます。 ※ただしスイッチングの場合は、1口単位です。
購入価額	①当初申込期間:1万口当り1万円とします。 ②継続申込期間:購入申込受付日の翌営業日の基準価額(1万口当り)とします。
換金代金	換金申込受付日から起算して、原則として5営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として毎営業日の午後3時までに販売会社の手続きが完了したものを当日受付分とします。
申込不可日	ロンドン証券取引所、ロンドンの銀行のいずれかの休業日と同日の場合は、購入・換金・スイッチング(乗換え)の申込みの受け付けを行いません。
購入の申込期間	①当初申込期間:平成26年7月1日から平成26年7月16日まで ②継続申込期間:平成26年7月17日以降
設定日	平成26年7月17日
当初募集額	各ファンドについて1,050億円を上限とし、合計額では1,050億円を上限とします。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所の取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金・スイッチング(乗換え)の申込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた購入・換金・スイッチング(乗換え)の申込みの受け付けを取消すことがあります。
スイッチング(乗換え)	「フルインベストメントコース」と「リスクコントロールコース」との間でスイッチング(乗換え)を行うことができます。
信託期間	平成26年7月17日から平成31年7月22日まで
繰上償還	各ファンドの合計した受益権口数が30億口を下回っている場合等には、委託会社はあらかじめ受益者に書面により通知する等の手続きを経て、ファンドを繰上償還させることがあります。
決算日	1・7月の各20日(該当日が休業日の場合は翌営業日) ・初回決算日は、平成27年1月20日とします。
収益分配	年2回の毎決算日に、収益分配方針に基づき収益分配を行います。 各ファンドにおいて、収益分配金の支払方法にはそれぞれ「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。
信託金の限度額	各ファンドにつき、5,000億円とします。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「愛称:NISA(ニーサ)」の適用対象です。
委託会社	ニッセイアセットマネジメント株式会社
受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社
販売会社	大和証券株式会社

MEMO



A series of horizontal dotted lines spanning the width of the page, providing a template for writing a memo.

MEMO



A series of horizontal dotted lines for writing.



ニッセイ アセットマネジメント株式会社

コールセンター **0120-762-506**

(午前9時～午後5時 土、日、祝祭日は除きます)

ホームページ <http://www.nam.co.jp/>

当資料で利用したインデックスについて

- MSCI各種指数は、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- シティ欧州世界国債インデックスは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した債券指数で、著作権、商標権、知的財産権、その他一切の権利は、シティグループ・グローバル・マーケット・インクに帰属します。